

<b>プロスルホカルブ・リニュロン粉粒剤</b> <b>キックボクサー細粒剤 F</b>	<b>取扱メーカー：</b> シンジェンタ*  <b>原体メーカー：</b> シンジェンタ，TKI
<b>成分：</b> プロスルホカルブ〔カーバメート系〕……………7.0% リニュロン〔尿素系 PRTR 1種〕……………1.75%	<b>性状：</b> 淡褐色細粒及び微粒 180～710 $\mu$ m  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> —

### 【品目特性】……………

- イネ科雑草から広葉雑草まで幅広い効果のある新規抵抗性雑草対策成分プロスルホカルブを含有。
- は種直後から麦出芽前までの散布で、スルホニルウレア系、ジントロアニリン系除草剤抵抗性スズメノテッポウを含めて安定した効果を発揮。
- 10 a 当り 3～4 kg 処理とコンパクト化を実現。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 土壌が極端に乾燥していると除草効果が劣ることがあるので、土壌が適度な水分を含んでいる時に散布する。
- 砂土での使用はさける。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 本剤の使用により、一過性の薬害（黄斑，縮葉，生育抑制）を生じることがあるが、その後の生育に影響はない。

- 植物に薬剤が付着すると薬害を生じるおそれがあるので、付近の農作物等に薬剤がかからないように散布する。

- 砕土，整地はできるだけ丁寧に行い，種子が露出しないように覆土はできるだけ丁寧に行う。

- 麦類に使用する場合，次のような条件下では薬害が生じるおそれがあるため使用をさける。

- 水田裏作の排水不良の畑。
- 散播栽培で覆土を行わない場合。

- 激しい降雨が予想される場合の使用はさける。
- 後作物に対して影響を及ぼすことがあるので注意する。特に，あぶらな科，うり科，なす科及びまめ科の作物は影響を受けやすいので，本剤処理後3カ月以内にこれらを後作物として栽培しない。

### 【安全対策上の注意】……………

- 蚕に対して影響があるので，周辺の桑葉にはかからないようにする。



### 【適用と使用法】……………

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	適用地帯	使用方法	本剤の 使用回数
小麦(秋播) 大麦(秋播)	一年生雑草	全土壌 (砂土を除く)	は種後出芽前 (雑草発生前)	3～4kg	全域 (北海道を除く)	全面土壌散布	1回 ※

※プロスルホカルブを含む農薬の総使用回数：2回以内  
 ※リニュロンを含む農薬の総使用回数：1回